

# 沖本 佳代

Okimoto Kayo

日本赤十字社大分県支部  
事業推進課  
2018年 入社



## 入社のかっかけは？

大学時代お世話になったアルバイト先のご夫婦が元赤十字職員の方で、人道の理念に基づいた赤十字の幅広い活動を教えてくださったことが赤十字を知るきっかけでした。

「人間を救うのは、人間だ。」というスローガン、「苦しんでいる人を救いたい」という理念に共感し、赤十字に入社しました。

## 現在の仕事内容は？

事業推進課では、防災教育事業、赤十字ボランティアの育成、救援物資の整備などの業務を担当しています。学校や地域で「自助」・「共助」の力を高める防災セミナーを行ったり、赤十字ボランティアの方と平時は炊き出し訓練や研修会、災害時は炊き出しや救援物資の運搬、募金活動などを行ったりしています。また、支部で保管している緊急セットや毛布、バスタオルなどの救護物資を市町村と調整を行い整備しています。

## 仕事のやりがいは？

防災セミナーで学生や地域の方に災害への備えについてお話しをする際、目の前にいる人だけではなくその家族や友人、大切な人の命も守れるようにお伝えすることを心がけています。セミナー後に「家族で避難場所について話し合っておこうと思う。」「非常持ち出し品や非常食の準備をしておこうと思う。」といったご感想をいただくとセミナーの内容が伝わってよかったなとやりがいを感じます。どの業務に取り組む際も苦しむ人を減らしたいという意識を持って働いています。

## 就活生へのメッセージ

コロナ禍での就職活動は思うようにいかないことも多く不安を感じることもあるかと思います。しかし、苦しみながらも自分の道を選ぶ経験は今後の人生にきっと役立つはずです。

赤十字の職員やボランティアさん、ご協力してくださる方は赤十字精神を大切にしている優しく温かい方が多いです。私も日々人の優しさや思いやりに触れながら働いています。

一緒に働ける日を楽しみにしています。